

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
3	1	理念については、定期的な振り返りが必要。	新年度も理念についての振り返りの機会を持つ。	定例会議の中で定期的に理念の振り返り、評価する機会を持つ。	12ヶ月
5	2	ホーム近くの道などの清掃を行っているが、地区の清掃日など日程は分からない。	地区の清掃日など、把握し交流を深める。	運営推進会議等で確認し、地区の方と共に参加する機会を設ける。	4ヶ月
1	35	非常災害時の訓練(机上でも)、マニュアル見直しを行う必要がある。	非常災害時のマニュアル策定・見直しを行う。	非常災害マニュアルの振り返り、見直しを行う。グループホームだけでなく木綿葉全体でも行う。また、訓練時は、家族様での参加の呼びかけを行ない、気づきや意見など、参考にし今後の訓練に活かす。	6ヶ月
2	40	今後もしもご入居様に楽しい食事支援を継続できるように努める必要がある。	現状の維持、向上を目標とする。なお、検食の機会を増やす。	普段通りの食事風景からでも定期会議などで振り返る機会を持つようにする。	3ヶ月
4	43	職員も時にはご入居者様の目線で同じトイレを使用してみることで、使い勝手やトイレ内の環境など新たな気づきが生まれてくると思われる。	ご入居様に迷惑のかからぬ範囲で使用してみたりとスタッフ間で意見交換を行う。	定期会議で振り返りを行う。必要あらば環境整備など取り組む。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。